



松浦武四郎筆「豆遣日誌」より 嘉永7年(1854)【伊豆下田で黒船シシビ号に乗り平面図を記す】

幕末期の日本は、鎖国から開国へと動き出す歴史の一大転換期でした。開国と通商を求めて諸外国が相次いで来航する中で、国を守るために幕府中心の政治から天皇中心の政治に戻し、一致団結して外国を追い払う「尊王攘夷」の思想に多くの志士たちが影響を受けました。

その中で松浦武四郎は、ロシア外交の最前線にあたる蝦夷地(北海道)を踏査し、その様子を志士たちに伝え、情報ネットワークを築きます。

この展示では、武四郎が志士たちと交流し、自らも志士として活動した姿を紹介します。

背景：田崎草堂筆「薩化成図」鈴木算湖筆「割国表図」いずれも嘉永4年(1851)

幕末を 生きた武四郎

松浦武四郎記念館 企画展示



松浦武四郎筆「奥地行自入用品申上書」安政3年(1856)【北蝦夷地(サハリン)中部に伊勢神宮、熱田神宮の勧請を計画】



松浦武四郎筆「松浦武四郎書翰」嘉永4年(1851)6月18日付【大鶴の玉が鳥居交い障に包まれる中で死ぬ覚悟です】



坂本龍馬宛「吉田松陰書翰」嘉永6年(1853)9月5日付(部分)【松浦武四郎「おやぢ」先生のお考えをお聞かせください】



松浦武四郎著「竹島誌」明治3年(1870)【竹島(現在の鬱陵島)の地理を紹介】

自由研究を応援します!

記念館・誕生地の写真撮り放題!
在席する学芸員に質問し放題!
記念館ホールに
参考図書を用意。
※必要なコピーはお一人10枚まで無料。

8月4日(火)~9日(日)限定
松浦武四郎誕生地を描こう!

画用紙をお一人2枚まで提供!
※絵を描く道具とお茶などはご持参ください。
※18歳以下は誕生地が入館無料です。

小中学生応援企画

夏休みは
松浦武四郎記念館
に行こう!

開催期間:7月18日(土)~8月30日(日)

証解きクイズラリー
たけちゃんからの挑戦状!

記念館の展示室内で
クイズを探して答えると、
正解者全員に
記念品プレゼント!

武四郎
講座

毎月第2日曜日
午前10時~
好評開催中!

武四郎の
江戸での生活その2
講師:世古 詩央里(当館 学芸員)

第208回
7月12日(日)
午前
10時~11時

武四郎の
第1回蝦夷地調査報告書
「初航蝦夷日誌」を読む
講師:佐藤 圭祐(当館 学芸員)

第209回
8月9日(日)
午前
10時~11時

展示担当学芸員による
展示解説

日時 7月12日(日)・8月9日(日)
いずれも11時~12時

場所 企画展示室
※予約不要、入館料のみで参加可。

武四郎まつりマスコットキャラクター
たけちゃん

会場 当館
多目的室

定員 60名

申込方法 申込不要
先着順に受付

参加費 110円
(資料代)

※入館料をお支払いの方は無料。

ご利用案内

- 開館時間 午前9時00分から午後4時30分まで
- 休館日 毎週月曜日・8月12日(水)
7月20日(月・祝)は開館して翌7月21日(火)は休館。
- 入館料 19歳以上…360円[230円]/6歳以上18歳以下…230円[120円]
就学前の子どもは無料、お得な年間パスポートあり。
※松浦武四郎誕生地は18歳以下無料 ※【】内は20名以上の団体料金。
- 交通案内

<電車・バスで>
近鉄
・【伊勢中川駅東口】からタクシーで約7分
三雲地域コミュニティバス「たけちゃんハートバス」(9人乗り)を運行
バス停【松浦武四郎記念館】下車すぐ。
JR・近鉄
・【津駅前(東口)】から三交バス「天白」行き、バス停【小野江】下車
国道23号 小野江町交差点を西へ徒歩約13分
<お車で>
※無料駐車場完備(乗用車50台まで駐車可能)。
・伊勢自動車道
【久居IC】・【一志郷IC】から車で各15分
国道23号
【小野江町交差点】を西へ約1km
・中勢バイパス(国道23号)
【郷野新屋庄ランプ】から車で3分

